

第6期 (2008年度) S S C S (Small Schools for Civil Society)
 インターンシップ奨励プログラム
 活動カリキュラム (2008年6月～2009年6月)

■ 団 体 概 要

記入日2008年2月

団体名 (小さな学校)	特定非営利活動法人 水俣フォーラム
代表者・連絡担当者	代表者 栗原 彬 連絡担当者 林 勝一
団体住所等	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-12 竹内ローリエビル401 電話：03-3208-3051 FAX：03-3208-3052 E-mail：mf1997@mountain.ocn.ne.jp URL：http://www6.ocn.ne.jp/~mf1997/ 連絡のつく曜日・時間帯： 月曜日～金曜日 10：00～18：00
設立時期	1997年10月 設立

団体の活動目的と活動内容

「公害の原点」と言われる水俣病事件を、広く一般に周知する事業を行い、「近代」や「人間」についてともに考える機会を提供するとともに、新たな社会参加の場をつくり出すことによって、社会全体の教育に寄与することを目的とする。おもな活動内容としては、全国各地での「水俣展」の開催（18展、116,537人来場）、「水俣病記念講演会」の毎年開催（8回、5,283人来場）、「水俣セミナー」毎月開講（88回、3,859人参加）、水俣病関連書籍・映像の企画、編集、制作など。

■活 動 カ リ キ ュ ラ ム

活動名	水俣病を伝えるための各種事業の運営および事務局補佐
主な活動場所	上記事務所
最寄駅と駅からの距離	最寄駅：高田馬場（JR、西武新宿線、地下鉄東西線）駅から 徒歩 3分
スケジュール	<活 動 な ど> (カリキュラムは、状況や事情により変更になる場合があります)
2008年6月7,8日	事前研修会・入校式（6期） ・インターン開始
<<前期>>	●法人運営に関する業務 オリエンテーション(水俣フォーラムについて) 日常業務に関する事務補佐(資料整理、書類制作、案内発送、ライブラリー管理など) 事務所スタッフ会議への参加(当法人の事業の概要、運営の仕方を把握)
2008年11月頃	●主催事業に関する業務 マスコミへの広報、情報発信 水俣セミナー(6,7月)の開催準備(当日資料制作、当日運営補佐) 「水俣・新潟展」開催準備(事前準備、現地での会場運営などの補佐)
<<後期>>	中間報告会 『水俣フォーラムNEWS』編集補佐 水俣セミナー(9～11月)の開催準備(企画立案から当日運営まで) 「水俣・千葉展」開催準備(各種資料制作、ボランティア説明会運営、会場運営など)
2009年6月頃	活動報告書の作成 修了報告会(6期)／事前研修会・入校式(7期)
総括的な受け入れ指導者名 (スーパーバイザー)	: 実川 悠太
日常的な受け入れ担当者名 (メンター)	: 林 勝一

【団体名： 水俣フォーラム】

■ インターンに期待すること

・特に専門性や経験は要求しませんが、日常事務だけでなく、企画立案から当日の運営に至る、一つの催事を作りあげる一連のプロセスへの参加を通じて、NPOのスタッフとして主体的に活動していただきたいと思います。

・世代も職業も多様な水俣フォーラムを支えるボランティアが活動しやすい環境を整えることが事務局の大切な仕事です。事業の企画、運営に加えて、ボランティアや参加者とのコミュニケーションを通じて、何かを得ようとする意欲をもって活動していただきたいと思います。

■ 活動日・活動時間についての希望

・1年間を通じて活動できる方を希望します。

・活動期間中は、週1回程度、平日（10時～17時）、事務所での活動を基本とします。

・毎月の水俣セミナーや、「水俣・新潟展」（08年8月）、「水俣・千葉展」（08年12月）などの催事の前後には、週1日以上あるいは土曜、日曜に活動をお願いする場合があります。

■ 団体の活動を理解するために役立つと思われる資料や情報

・『水俣展総合パンフレット』（水俣フォーラム 発行、1998年）

・『証言 水俣病』（栗原彬 編、2000年、岩波新書）

・『水俣病』（原田正純、1972年、岩波新書）

・水俣フォーラムのホームページ（<http://www6.ocn.ne.jp/~mf1997/index.html> 特に「水俣フォーラム 設立趣意書」をお読み下さい（TOPページ→「水俣フォーラムについて」→「水俣を伝えつづけるために」）

■ その他

一昨年にその公式確認から50年の節目をむかえた水俣病は、事件の風化が危惧されています。私たちは「水俣」により多くの人が出会える開かれた場を創出し、今一度、私たちの社会を問い直すきっかけにしたいと思います。本カリキュラムの目的は、当法人の運営にインターンとして携わりNPOの現場に学んでいただくことにありますが、それ以上に参加者自身にとっての「水俣」に出会っていただければと思います。

(水俣フォーラムは、6期から受け入れ団体となったため、先輩からのメッセージはありません)